

国際知財司法シンポジウム2023(JSIP2023)

～「各国模擬裁判－特許権の国際消尽」及び

「知的財産紛争解決の国際比較」～

裁判所パートの結果概要

知的財産高等裁判所判事 天野 研司

知的財産高等裁判所判事 勝又来未子

第1 はじめに

国際知財司法シンポジウム2023(JSIP2023)の開催初日の2023年10月17日、裁判所パートのプログラムが実施された。今年度は、韓国およびインドから裁判官、弁護士の方々に来日いただき、パネルディスカッションへの登壇に加えて模擬裁判を実施していただいた。また、近時の国際会議の実施態様の変容を織り込み、いわゆるハイブリッド方式(会場への参集とZoomウェビナーとの併用型)を採用するとともに、資料は、ウェブサイトから適宜ダウンロードしていただき当日会場で配布する量を極力少なくするなど、ペーパーレス化の試みがされた。

シンポジウムの開催に当たり、最初に、深山卓也最高裁判所判事から、主催者を代表し、日本とASEANとの友好協力50周年を迎えるこの年に、ASEAN諸国の参加者をお迎えできることは喜ばしいことであること、知的財産高等裁判所(以下「知財高裁」という。)では、2022年のビジネス・コートへの移転を契機に、これまで以上に活発な国際交流がされており、知財司法における国際化の取組は司法の他の分野においても大いに刺激となること、デジタル化が進展する我が国の司法制度やその運用の実情を紹介するとともに、各国の実情も紹介いただき相互理解と議論を深めたいこと等を内容とする挨拶があった。



深山卓也最高裁判所判事による開会挨拶

裁判所パートは二部構成で実施された。第一部では、模擬裁判用の事例の説明¹がされた後、日本、韓国、インドの順で、それぞれの国の裁判官および弁護士・弁理士²が模擬裁判を行った。第二部では、第一部の模擬裁判登壇者を中心に、知財高裁の本多知成所長も登壇してパネルディスカッションを実施した。

以下、模擬裁判およびパネルディスカッションの結果概要を報告する³。なお、本稿中、意見にわたる部分は筆者らの個人的見解である。

第2 各国模擬裁判—特許権の国際消尽

1 模擬事例の概要等

模擬事例は、大阪地判平26・1・16（平成24年（ワ）第8071号。薬剤分包用ロールペーパー事件）に着想を得て、議論のために事案を単純化するなどの改変を加えた特許権侵害訴訟の事案である。事案のポイントとなる点を簡単に説明すると、次のとおりである。

(1) 原告（Pony社）の特許権等（図1参照）

ア 原告は、発明の名称を「ロールペーパー」とする発明（本件発明）につき、A国⁴およびB国において、それぞれ特許出願をし、A国で特許権（本件特許権）を取得するとともに、B国でも特許権（対応特許権）を取得した。本件特許権に係る特許（本件特許）の明細書（本件明細書）によると、本件発明の特徴は、概要、次のとおりである。

① 回転自在なロールホルダに装着されたロールペーパーから熱融着性の分包用シートを引き出して物品を分包する物品分包装置では、分包用シートの移送路に設けられたシール装置の上流側で分包用シートが二つ折りにされるとともに物品が投入され、その後にシール装置により分包用シートが加熱溶着されることで物品が分包される。適切な張力で分包用シートが引き出されるよう、ロールホルダの回転にはブレーキ力が与えられるが、その力が一定であると、分包用シートが引き出されるに従いロールペーパーの外径が小さくなるにつれて、ブレーキ力が過剰となって回転が停止し、シート切れ等が生じる原因となる。このため、変化するロールペーパーの外径を正確に検出し、その検出結果に基づきブレーキ力を調整することが求められる。（段落【0002】～

1 知財高裁の今井弘晃判事による。

2 登壇者は、日本からは重富貴光弁護士、黒田薫弁護士、知財高裁の宮坂昌利部総括判事、浅井憲判事、本吉弘行判事、天野研司判事（筆者）、松本直子裁判所調査官、竹中謙史裁判所調査官、韓国からは韓国特許法院のHyejin LEE判事、Sang-Wook HAN弁護士、Si-Yul LEE弁護士、Kwang-hee YOO弁理士、インドからはデリー高等裁判所のYashwant VARMA判事、Saikrishna RAJAGOPAL弁護士、Adarsh RAMANUJAN弁護士である。なお、模擬事例の作成および各国制度の比較検討等を含め、パネルディスカッションの実施に向けては、林いづみ弁護士、小野寺良文弁護士、松山智恵弁護士、岩井久美子弁護士、山口裕司弁護士、知財高裁（当時）の中村恭判事、秋田将行裁判所調査官を始め、多数の弁護士、裁判所関係者から数多くの基礎資料や助言をいただいた。

3 事例説明、模擬裁判およびパネルディスカッションの動画等は、最高裁行政局YouTube（https://www.youtube.com/channel/UC8e_LoV04a5G254ry87EaoQ）において視聴可能である（いずれも日本語版、英語版および会場音声版がある。）。

また、模擬裁判およびパネルディスカッションに関する資料（模擬事例、スライド、判決要旨、プレゼンテーション資料等）は知財高裁ウェブサイトの国際知財司法シンポジウム2023（JSIP2023）のページ（https://www.ip.courts.go.jp/jsip/vcmsFolder_1696/vcms_1696.html）において公開されている。

4 「A国」は自国、「B国」は外国を想定している。